

2013 くすのき

VOL.24

樟 樹

樟樹会 新居浜西島高等学校同窓会

愛媛県立新居浜西高等学校 創立100周年に向けて

会長あいさつ



樟樹会会長
畑田 雅敏
(昭和44年卒)

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。誌面ではございますが平素の疎遠をお詫びし、厚く御礼申し上げます。

本校は、大正6年5月3日、西町の新居浜町役場内に新居浜町立実科女学校として開校され、大正8年4月に新居浜町立実科高等学校となりまし。大正12年12月には校友会誌創刊号が発行され、昭和15年4月には愛媛県立新居浜高等女学校となり県移管。昭和16年5月には同窓会誌創刊号が発刊されました。昭和23年4月に愛媛県立新居浜第二高等学校と改称、6月には新居浜市立定時制高等学校

を併設開校。昭和24年9月愛媛県立新居浜工業高校と合併し、愛媛県立新居浜西高等学校となりました。そして昭和25年4月、新居浜東高・西条北高より男子生徒が編入され、男女共学となり、現在に至っております。

この間、時代の流れにより幾多の変遷を経て、大正・昭和・平成の3代にわたり、愛媛県における教育の向上に多大の貢献をし、戦後の学制改革後はその輝かしい歴史と伝統をさらに発展させ、現在では運動部・文化部の華々しい活躍と、進学における全国屈指の優秀校として知られてきました。また、この素晴らしい自由と活力にあふれた母校に学び、巣立っていった卒業生は32,000人を超え、国内はもとより広く海外に雄飛し、各界で活躍いたしております。

幸い、県並びに県教育委員会のご高配と同窓会会員・PTA各位・地域有志の絶大なご協力・ご支援により、現在のように素晴らしい教育環境が整備されて参りました。

平成19年の創立90周年には周年記念事業と

して国旗校旗掲揚台の施工、41年卒で当時ダイワハウス工業株式会社代表取締役社長の村上健治先輩により「人間万事塞翁が馬」のテーマで記念講演をしていただき、卒業から現在に至るまでの体験談を話されました。また、芸術鑑賞会として46年卒でトランペット奏者の曾我部清典先輩とブラスバンド部とのコラボレイト演奏会が行われ伝統とテクノロジーの感性的貴重な体験をしました。そして、当然ですが創立90周年記念誌の刊行もいたしました。

さて、平成29年には記念すべき母校創立100周年を迎えます。本年はその第一歩としてどのような記念事業を行うか、皆さんと共に進めてまいりたいと存じます。同窓会誌又はホームページでその都度お知らせいたしますので、なんなりとご意見を賜ればと思っております。

同窓生の皆さんには今後ともご理解いただきまして、これまで以上のご協力ご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

本部だより

総会・懇親会に来てください、

8月土曜の夕べに 毎年恒例の総会・懇親会が開催されます。昨年、リーガロイヤルホテル新居浜で開催され、200名近い老若男女が集う懇親会となりました。

総会開催中、隣の懇親会会場では、オープニングセレモニーで現役西高ブラスバンド部部員による演奏が行われ、参加者をあたたかく迎えてくれます。

参加者が席に着いたら、いよいよ迫力ある生演奏の本番。

オープニング演奏終了とともに、懇親会が始まります。一年ぶりの再会、長い年月を経た出会い、同期の集まりや、恩師との交流、当時を振り返りながらの心とむひと時を過ごせたことでしょう。

懇親会が大いに盛り上がった頃、アトラクションの抽選会が行われ、くじの番号が発表されるたび宴は盛り上がり、最後は全員で校歌を歌って閉会となりました。

今年の総会には、ぜひお友達も誘って来てみませんか！！



吹奏楽部の
オープニング演奏



大抽選会



全員で校歌斉唱

平成25年度 事業計画

月日	会合名	事業内容
3月29日	樟樹編集委員会	「樟樹」24号 印刷所承認・概要相談
4月10日	会計監査	平成24年度 会計帳簿類
4月22日	樟樹編集委員会	「樟樹」24号 原稿依頼先および責任者決定
5月10日	第1回常任理事会	平成24年度 事業報告 平成24年度 会計決算報告 平成24年度 会計監査報告 平成25年度 役員承認 平成25年度 事業計画案審議 平成25年度 予算案審議 平成25年度 総会・懇親会開催準備について その他
5月13日	樟樹編集委員会	原稿持寄り・ページ構成・レイアウト打合せ
5月27日	樟樹編集委員会	前回分校正・第2次原稿持寄り
5月30日	第1回理事会	第1回常任理事会と同内容
6月3日	第2回常任理事会	平成25年度 総会・懇親会開催準備について 総会の議事内容、運営方法、会員券の販売 招待者、チラシ、ポスター等 その他
6月3日	樟樹編集委員会	校正
6月7日	第2回理事会	第2回常任理事会と同内容
6月10日	樟樹編集委員会	最終校正
6月19日	西高祭支援	チャリティーバザー模擬店出店 合格たこ焼き・合格焼きそば・フランクフルト・ 西高どら焼き・ラムネ等販売
7月15日		「樟樹」24号 発行
8月3日	総会・懇親会	平成24年度 事業報告 平成24年度 会計決算報告 平成24年度 会計監査報告 平成25年度 役員承認 平成25年度 事業計画案審議 平成25年度 予算案審議 その他
1月下旬	第3回常任理事会	平成25年度の反省及び平成26年度の予定 同窓会入会記念品及び同窓会賞について その他
2月上旬	第3回理事会	第3回常任理事会と同内容
2月下旬	同窓会入会式	新会員へ入会記念品贈呈
3月上旬	同窓会賞授与	卒業式にて授与(全日制 定時制 若干名)
備考		『東日本樟樹会』 5月26日(日曜) 総会開催 『近畿くすのき会』 6月29日(土曜) 総会開催 『松山樟樹会』 3年後の秋頃 総会開催予定

平成24年度 樟樹会一般会計収支決算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

	項目	24年度予算額	24年度決算額	備考
収入の部	前年度繰越金	1,941,278	1,941,278	
	入会金(全日制)	2,798,400	2,742,300	831人(延べ人数)
	入会金(定時制)	247,500	297,000	30人
	雑収入	1,000	193,115	預金利息・貯金利子・会員名簿販売
	運営会費	1,300,000	1,376,000	運営会費 202件(1口、3,000円から) 賛助会費 47件(1口、10,000円から)
	収入合計	6,288,178	6,549,693	
支出の部	会合費	1,000,000	1,186,471	理事会・総会補助
	慶弔費	50,000	35,000	饗別・香典
	人件費	1,440,000	1,440,000	賃金
	事務費	100,000	101,639	
	同窓会賞	30,000	11,340	全日制 2名 定時制 1名
	入会祝	600,000	645,480	全日制 295名 定時制 30名
	支部への補助金	150,000	90,000	各支部総会 お祝い金
	旅費	200,000	170,000	各支部総会 出席
	生徒への補助金	500,000	655,000	四国・全国大会補助
	その他の事業費	130,000	113,803	西高祭生徒会支援 高校野球広告料他
通信費	250,000	236,941	電話代 切手・葉書代	
雑費・予備費	200,000	223,597	運営会費徴収に関する費用他	
	次年度繰越金	1,638,178	1,640,422	(現金) 7,513 伊予銀行新居浜支店(普通預金) 248,907 ゆうちょ銀行新居浜西原町(通常貯金) 35,202 ゆうちょ銀行(加入口座) 1,348,800
	支出合計	6,288,178	6,549,693	

平成25年度

総会および懇親会のご案内

日時 平成25年8月3日(土)

総会 17時30分開会

懇親会 18時30分から

場所 ユアーズ

新居浜市泉宮町5-8

TEL 0897-33-3535

チケット 3,000円(一般会員)

1,500円(平成18年以降卒業会員)

当日も受け付けます。

ご要望に応じて、同期生・部活等の

テーブルをご用意します。

生

にわたり活躍されている
するコーナーです

介

Profile

新居浜保育園、中萩小・中を経て、
昭和51年 新居浜西高等学校普通科卒業
昭和55年 東京大学法学部卒業
通商産業省(現経済産業省)入省
経済産業省化学課長、(独)産業技術
総合研究所理事、
経済産業大臣官房審議官など20のポストを経て
平成22年 全国中小企業団体中央会専務理事



眞鍋 隆

まなべ たかし

樟 樹 讚

今し方、東日本樟樹会に出席してきたところ。

初めての出席でしたが、藤田校長先生の制限時間(？)3分を大幅に超える興味深い「西高の今」のお話し、新居浜・西高クイズなど幹事さんのご苦労が偲ばれるプログラムに加え、初めての方、懐かしい方にお会いでき、そして、お土産に頂いた「西高どら焼き」頬張りながら、身も心も西高モードになっています。

畑田会長から寄稿のお声掛け頂き、見せて頂いた昨年号のこの欄、塩田さんは本日の司会も務められ、東京でしばしば一緒にいる中萩・国家公務員の先輩、その欄に登場する村上准教授は私の実家の珠算塾の塾生。そして、恵子さんは高校三年時の同級生...と言っても、米国留学帰りでひとつ年上のお姉様。大学時代に東京で誰かの下宿に西高同級生が集まったのが最後にお会いした時。こんな御活躍をされているとは露知らず。また、還暦の欄の片上さんは、つい先月、センターにお邪魔したばかり。...西高の繋がりが、万歳です。

近年、西高の同級生始め、故里と関わる
ことが増えました。

同級生との飲み会。40年も昔の、箸が転

げる程度のたわいもない想い出に、大の大人が一緒に笑い転げられる、そんな心の繋がりが、人生の宝物に思われます。

今年の5月には別子山村合併10周年記念シンポジウムに参画させて頂き、また、人の縁も広がりました。これも、市役所で頑張っている西高の親友の縁。

経済産業省という役所の特色と考えることを少し。

近年テレビドラマ化された「官僚たちの夏」の舞台。入ったのは、さ迷うばかりだった学生時代に決別すべく、何かしらの激流に身を委ねたい心境故だったかも知れません。

「行政の百貨店」通商交渉、産業政策から、まちづくり・消費者問題まで。

「通常残業省」国会対応や国際交渉で徹夜が続く、いつ倒れてもおかしくない状況もしばしば。身体的には「これまで生きてきた自分を誉めてあげたい気分」。

「下克上・アイデア官庁」お役所と言っても、法令・権限に基づく仕事よりも、自分のアイデアと論理で創造する仕事が多く、頭の柔軟性維持に多少は資しただろうか。

「国際」初めての海外が地球の裏側アル

ゼンチン出張。ベルリンの壁崩壊の前後に、激動する東欧・ワルシャワの大使館勤務。ベルシャ湾をヘリコプターで油田まで。

この間に、市場と政策、企業と消費者、競争と平等、等々様々な相克する課題を考えさせられました。振り返れば、いつの間にか、西高時代には想像もしなかった様々な世界を体験してきたことだけは確か。

それだけに、新居浜・西高という原点の価値が、尊くなっていると思われれます。

高校三年時の担任の三井博先生には、社
会人になってからも、毎年家族でお正月に
訪問。その時間が楽しいのは、東京の現実
と、自分の原点の繋がりを確かめる行為だ
から、かも知れませんが。同窓生と共に西高
時代を振り返ると、本当の純粹な自己は西
高まで、それから先は経済・社会の構造の
中で演技がゲームをしていたような、そん
な感覚にすら囚われます。

振り返ってばかりもいられず、明日から
も為すべきことが山積していますが、今日
の樟樹会の繋がりに、支えられ勇気づけ
られた気がしています。

西高という小さな同じ場所を、互いに語
り合えるほどの同じ時代に共有できたこと
の奇跡に、感謝。

同窓

文化面、産業界など各界
同窓生をご紹介

紹介

食は命、康且寿

樟樹既刊誌拝見、立派なお歴々の方々の欄に81歳現役の料理人の登場とは如何にです。

人生色々私はその中の一員ですが、昭和の初期生まれの私、「大学へ行くと嫁の取り手がない」と云われた時代です。「なら、やるか!」とあれこれ考えた挙句、

女子栄養大学文部省認定社会通信教育栄養と料理講座でしたが、子育てしながらの提出課題に悩まされつゝも、ねじり鉢巻の大奮闘、栄養学などむつかしいこと、さっぱりわからんの連続。然しやっと修了。すると一度調子に乗ると又、「やるか!」の意気込みよろしく、ついにて検

定試験に挑戦。これも上級パスとなると、又々欲が出て、キッチン科学士を夢見る様になりました。然しこれがそう〜簡単には行きません。夏期講習になると、

1ヶ月昼夜の講習に洗面器提げての授業。2時間の休みに近所の銭湯通いにも慣れましたが、上京の時がこれ又、大変、当時の電車は冷暖房どころか、おまけに学割ときでの夜行列車。朝、東京駅へ着くと鼻の黒真黒、見事な35歳の顔でした。

苦勞の末、やっと教室を持つことが出来、随分威張って我が大将。そんな時、有名料理学校の理事長さんに云われましたこと、「長岡先生のところの学校は試験管で振った様な料理かね」と振る真似迄見せられ、カチン!でした。

それから私の「道場破り」ならぬ道場遍歴のはじまりです。振り願えれば50年、築地田村、東京吉兆、三玄、帝国ホテル、オークラなど隈無く歩きましたが、これでは中途半端、一大決心、赤坂の柳原料理教室の門を叩きました。入学当時は月2回、すべてにこたえました。通いはじめて13年、お蔭様で料理の真髄を窮めました。然し、未だあると、これが最後かもと銀座「壬生」(会員制)でした。料理の道は深く14年間お世話になる中、見事な数々の料理にまだまだ私は未熟、現在、

新宿京王プラザホテル和食佐々木料理長の特別メニューを作って下さるので一品一品が勉強と謙虚に受けとめ、わずかのことも逃さず、初心に省る一時です。

そこで今迄の教室ではいけないと築地へ足を運び、断られても元々と、どうせ

お願いするなら、夫々築地一番の大きいお店と5軒尋ね、宅急便で出していたぐく様お願い致し、ファックスでのお願いも日時必着で間違わず送って下さいませ。もう30年来のお付き合い。親切に心を込めての現在。これが研究科の始まりです。

30年近く多く生徒さんが通って下さいます。然し、私の本職は予防医学の観点からの調味パーセント、適格な、和・洋・華・菓の基本と、1日の食事の塩分、糖分、カロリーの確実な摂取量を自覚して頂く本科生のことを忘れてはいけません。

現在の食の乱れを如何に指導するか一番大切な仕事。女子栄養大学長香川綾先生の常に云われていたこと「食は命、康且寿」を肝に銘じ、1人でも多くの人に健康でいてほしいと願います。私自身も病気はなりません。我が実践、欲も得も忘れての人生、一生貧乏忙しく終ることを畢生の職と甘んじて、一日一日を生き

て行きたいこの頃です。

Profile

昭和23年 新居浜高等女学校卒業
昭和25年 新居浜西高等学校普通科卒業 (新制高校が出来2年編入)
昭和37年 女子栄養大学栄養生活普及会支部に学長認可
昭和37年 長岡料理学園開校
昭和40年 文部省認定女子栄養大学社会通信教育修了
昭和43年 キッチン科学士登録
昭和44年 文部省認定通信教育司厨士講座全課定卒業
昭和45年 土井勝料理学校教師資格認定
昭和46年 柳原料理教室研修科及講師の免状取得 (13年間通学)
昭和49年 全国料理学校協会会員校
西日本料理学校協会会員校
昭和52年 恵比寿中国料理学院 (陳建民院長) 修了
平成3年 愛媛生涯学習インストラクター協会
一級インストラクター理事
平成10年 銀座壬生 (会員制) (14年間通学) 現在に至る



長岡 一枝

ながおか かずえ

の 歩 み

もっと輝いた 自分に出会いたい

書道部 篠原俊介



校舎をぐるりと巡ってみると、いろいろな所で多くの先輩たちの書の作品に出会えます。高校文化祭に出品した私達の作品も廊下や階段の踊り場などに飾られています。筆に墨をたづぶりと含ませてそれを白い紙に下ろす時の緊張感が好きです。時代によって変わる書風や書体を学び、それを自分なりに書いてみる。とても難しいことですが、上手く書けたときには何にも代え難い喜びがあります。書の一点一画には書く人の魂が籠もります。その時々心の有り様も表れます。書は自分との闘いであるとも言えるかもしれません。少しでも自分に満足のいく作品が書けるように部員一同精進しているところです。

動と静、どちらかという静のイメージの強い書道ですが、昨年度から西高書道部は「書道パフォーマンス」を始めました。毎年四国中央市で開催される「書道パフォーマンス甲子園」、それに昨年初参加することができたのです。初めて書道パフォーマンスをみんなの前で披露したのは西高祭においてでした。皆さんからは「すごいね。」「とても感動した。」「自分もやってみよう。」等々、多くの激励の言葉を頂きました。うれしかったです。

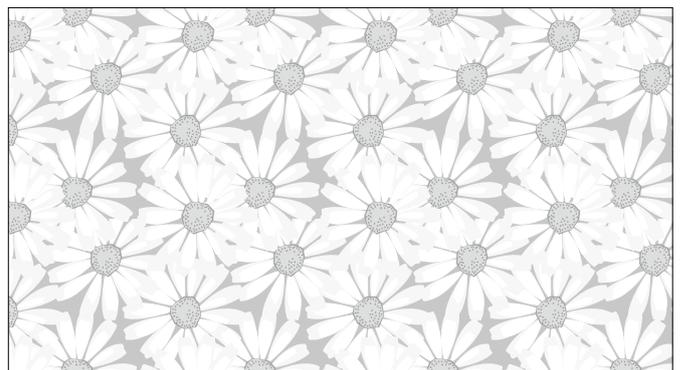
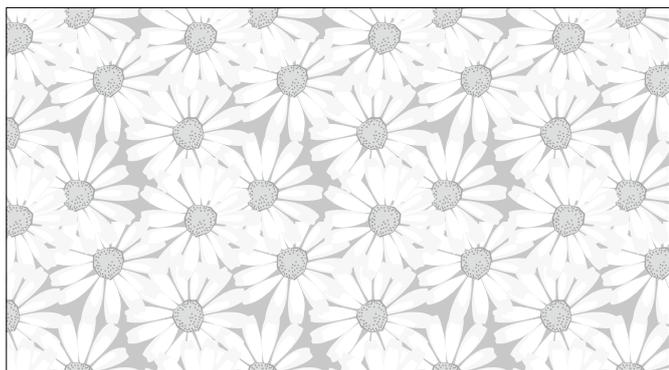
本来書道は個人芸術ですので、集団で書くとなると、いろいろな問題が発生しました。書く内容や字体はもちろんのこと、揮毫の際のフォームも研究しなくてはならないし、書く時に流す音楽も編集しなければなりません。限られた時間の中で試行錯誤を繰り返しました。その中で仲間の絆はいろいろなことがあるたびに強くなりまりました。おかげで「書道パフォーマンス」の予選を突破することができました。西高祭では大きな文字はモップを筆にして書いたりもしましたが、全国大会出場の記念に同窓会から頂いたお祝いで大きい筆も買うことができました。ありがとございました。昨年度の「第五回書道パフォーマンス甲子園」には東北から九州までの高校の内、予選を通過した一九校が出場し、会場全体は大きな熱気に包まれていました。



作品完成 大きな拍手につつまれて
第5回書道パフォーマンス甲子園 (川之江体育館にて)

「書道パフォーマンス甲子園」では入選することはかなわなかったものの、本番では私たちが元気で楽しいパフォーマンスを披露することができたと満足しています。審査員の方からは「伸び伸びと書いて、全体感がでている。」とか「皆の表情も抜群に輝いていた。」などの評価を頂きました。

今年も予選のビデオ審査に応募しました。西高祭では今年も書道パフォーマンスを披露する予定です。私たちのパフォーマンスを見て、一人でも多くの人が元気になれるように、感動してもらえるように、さらに、自分の夢に向かって一歩が踏み出せるように今日も頑張って練習に励んでいます。



部活動

私を成長させた「放送部」

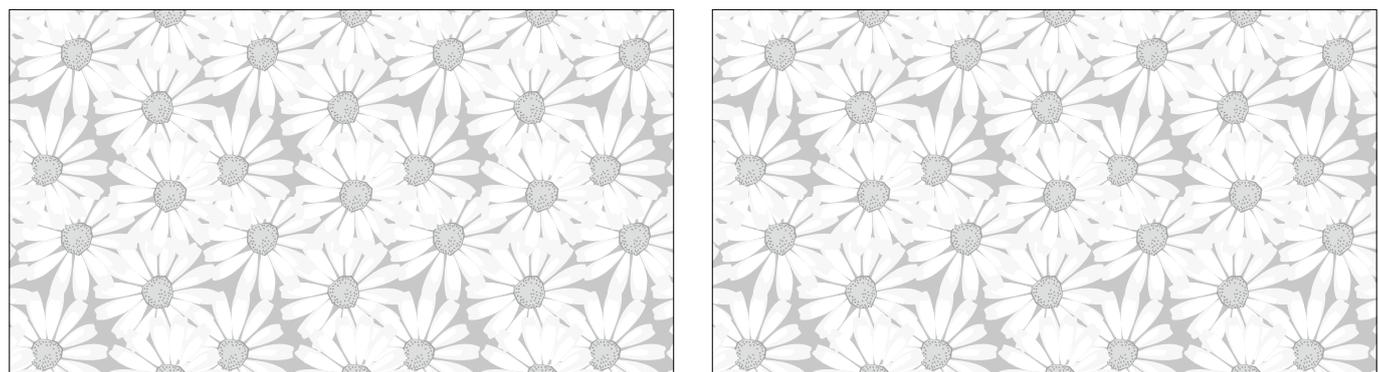
放送部 部長 宮川 萌



私は放送部に所属している。放送部は、映像や音声などで情報を伝えるということをしている。私が放送部に入った理由は、そうだと思うからだ。きっと楽しく校内放送をして、行事で少し目立って、放課後は早く家に帰って自由な時間を過ごして…。実際に活動が始まって興奮したところ、あれ、なんか違うぞと思うたことを覚えている。実は放送部は様々な部活の中で1番と言っていないほど中身の濃い部活だったのだ。それだけに本当に楽しく、本当に苦しい。

部活で特に私が成長できたなと思うことが3つある。1つは言葉を抑える部活なので日本語に厳しくなったということだ。この言葉は聞いただけで理解できるか、文章は簡潔かなどより伝わりやすい表現を求めるようになった。2つ目は度胸がついたことだ。今まで知らない人に話しかけたり、電話をしたり、大勢の人の前で話したりすることは本当に嫌いだった。今でもあまり得意ではないが以前よりも抵抗がなくなった。放送部が情報を伝えるためには、情報を集めなければならぬ。その際に取材をお願いをしたり、話を聞きに行ったりする。私は部長をしているのでその時に中心になって動かなければならぬ。最初は誰かがしてくれたらいいのにと感じていたが、今では貴重な体験ができて良かったと思っている。また、人前で話す機会が多かったので緊張せずに伝えたいことを言うようになった。

3つ目は感謝の気持ちを感じられるようになったことだ。人と関わる活動が多かったため自分だけが支えてもらっているのか、それがどれほど幸せなことか気がつくことができた。たくさんの方々を支えられ2回も全国大会に出場することができた。私達の頑張りの力があつたからこそのような貴重な体験ができたのだと思う。私達を支えてくださった方々に感謝申し上げたい。私達3年生は最後の大会に向けて全力を出し切りたいと思う。これからも、作品制作や学校行事などさまざまな場面で活躍し成長していく放送部になりたい。



第59回NHK杯全国高等学校放送コンテスト
(国立オリンピック記念青少年総合センターにて)

母校の概況

Nihama-Nishi High School

魅力ある進学校を目指して



校長 藤田 繁 治

毎年、本誌「樟樹」の表紙を飾る一宮の杜の樟、その樟の若葉が目眩しいような爽やかな季節を迎えております。樟樹会の皆様には、御健勝にて御活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃は母校新居浜西高等学校の教育活動全般に対し、物心両面の御支援を賜っておりますことに心より厚く御礼申し上げます。

私も昨年度本校に着任以来、校長として、また本校同窓生の1人として5月の東日本樟樹会総会、6月の近畿くすのき会総会、8月

の樟樹会総会、昭和49年卒同期会等々に出席させていただきながら、改めて、皆様が母校西高に寄せる温かい思いというものを肌で感じております。更に、西高祭への協力と支援、部活動において全国大会への出場を果たした延べ13の部

45名への補助、卒業生への入会祝等、折に触れて同窓会が学校を支えていただいていることをありがたく振り返っております。ちなみに、執務にあたっては、校長室には、顧問の世良賢克元会長贈「学校全景航空写真」、近畿くすのき会青野平先生「フイレントゥエ眺望」、同加藤幸則前会長「マダガスカルの黄昏」、同村上健治会長「中国蘇州運河」等の秀作が飾られており、日々学校と同窓会の繋がりを意識しております。

さて、本校では本年度取り組み

べき努力目標を「魅力ある進学校を目指して」としました。私は

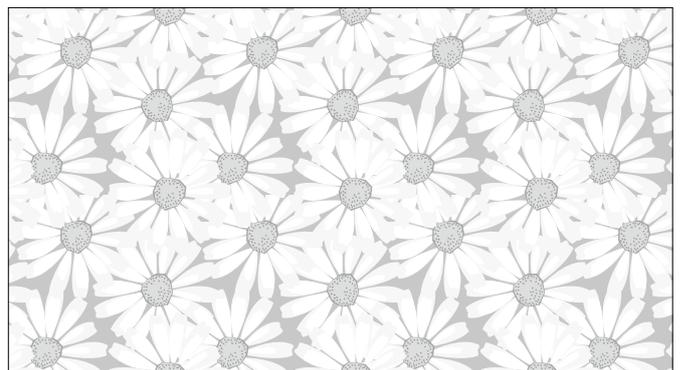
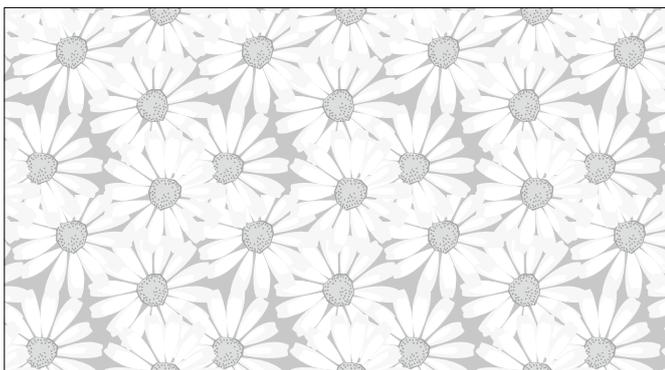
常々、進学校として評価を受けている学校には例外なく3つの要件が備わっていると考えております。1つは、予習を前提とした授業が成り立っていること。2つ目は、部活動が盛んであること。そして、3つ目に生徒指導がしっかりしていること。これらは、それぞれ、本校の校訓である「自主学习」「自己鍛錬」「自律生活」が生徒の生活の中に体现されることにも通じていると思うのです。

進学の面では今春、国公立大学には143名が合格しました。東京大学3名をはじめ京大、阪大など難関大学へは20名が、また医学部医学科にも5名が合格するなど、後に続く後輩への励みとなる成果も見えております。

平成25年度の部活動においては、地区予選を経て192名が県

総体への出場を果たしております。文化部も、棋道部が女子団体県大会1位、男子個人県大会2位と健闘し、既に出場を決めております合唱部、放送部と共に長崎県で開催される全国高等学校総合文化祭に参加いたします。高校生活における部活動の重要性を思うと同時に、生徒の活動全般に旺盛な活力を感じております。

4年後の平成29年には、本校も創立100周年の節目を迎えます。本館の改築等も視野に入ってきました。これから、本校の歴史と伝統に鑑みた意義深い周年行事等の実施に向けて畑田会長はじめ樟樹会の皆様には、どうか一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。



▼教職員の異動

《転入》

教頭 願成寺 優 (松山東)
 数学 立野 潤 (今治西)
 数学 小野遼太郎 (野村)
 理科 渡辺 浩志 (松山北)
 理科 安藤 華 (新任)
 理科 岡田 華子 (新任)
 英語 山内 直枝 (川之江)
 英語 浅田麻理美 (小松)
 英語 河野 克伸 (土居)
 英語 加藤 政美 (三島)

《転出》

教頭 立石 淳 (松山商)
 国語 五味むつみ (西条)
 地公 塩崎 勇人 (退職)
 数学 山之内統文 (丹原)
 数学 松長 健治 (今治南)
 理科 勝田 雅典 (伯方)
 理科 谷口 大祐 (小田)
 理科 桐木 英文 (西条)
 英語 山之内直樹 (川之江)
 英語 永易由希子 (今治東)
 英語 檜垣 美博 (退職)
 英語 矢田 弓子 (今治南)
 事務 広川 佳代 (退職)

▼同窓生が母校の教壇に立つ

《氏名》(卒業年)(教科等)

塩崎 勇人 (再任用) S 46 地公
 石川美千子 S 47 国語
 佐々木利夫 S 48 教頭
 藤田 繁治 S 49 校長
 願成寺 優 S 56 教頭
 渡辺 一生 S 56 数学
 吉田 明正 S 56 理科
 鈴木 斎 S 57 英語
 浅田 武裕 S 57 数学
 日野 右子 S 59 英語
 井川 美穂 S 62 英語
 塩崎 美都 S 63 国語
 松本恵子 S 65 英語
 片岡 大介 S 69 地公

《氏名》(卒業年)(教科等)

小池 佳子 H 9 英語
 倉光久美子 H 11 理科
 下田 賢吾 H 12 保体
 吉村 新平 H 15 数学
 藤野 瞳 H 20 事務



▼大学合格一覧

最近3カ年の総合合格者と、大学別合格者の一部を紹介しておきます。

	23年	24年	25年
国公立大	157	141	143
私立大	451	338	411

北海道大	0	1	0
東北大	2	1	0
東京大	0	2	3
名古屋大	1	0	1
京都大	4	2	1
大阪大	5	3	5
神戸大	5	4	3
岡山大	14	13	16
広島大	10	8	6
愛媛大	39	29	33
九州大	7	5	7

▼年間行事計画

月	日	行 事
4	8	全日制入学式・1学期始業式・定時制入学式
5	11	PTA 総会
	14	1学期中間考査(～17日)
	31	県高校総合体育大会(～6月3日松山市周辺)
6	19	西高祭
	27	1学期期末考査(～7月3日)
7	20	1学期終業式
8	26	2学期始業式
9	1	定時制・通信制県総合体育大会
	5	運動会
10	1	2年生2学期中間考査(～4日)
	7	2年生修学旅行(～11日)
		1・3年生2学期中間考査(～10日)
11	9	定時制運動会
	16	県高校総合文化祭(～17日松山市周辺)
	28	2学期期末考査(～12月4日)
12	20	2学期終業式
1	8	3学期始業式
	18	大学入試センター試験(～19日)
2	26	学年末考査(～3月4日)
3	1	全日制卒業式・定時制卒業式
	20	3学期終業式

昭和48年卒業 同期会のご案内

平成25年8月17日(土) 18:30～
リーガロイヤルホテル新居浜

卒業後4回目の同期会です。案内ができていない方で、参加希望の方は連絡下さい。

連絡先 幹事 永易明洋
永易税理士事務所 ☎0897-32-2473

2013 KANREKI memorial

会費	会場	日時
七,〇〇〇円 ホテル内で開催予定の二次会参加費も含む	リーガロイヤルホテル新居浜 新居浜市前田町六九 ☎〇八九七三三二二二	平成25年8月17日(土) 17時～20時

同期会のご案内

第3回 昭和47年3月卒業



速報

6月16日 四国高校総合体育大会

陸上 男子800M

清村 恒大君 1位

インターハイへ

平成25年度愛媛県高等学校総合体育大会 結果一覧

5月31日から6月3日（水泳は6月15日・16日）にかけて、愛媛県高等学校総合体育大会が松山市を中心に開催され、本校からも192名の生徒が参加し、各競技で活躍した。主な結果は下記の通り。

●陸上競技男子

- 800m 清村恒大 3位 (四国大会出場)
1500m 竹田直也 予選敗退
清村恒大 10位
5000m 薦田直人 20位
河村高重 22位
3000mSC 薦田直人 9位
5000mW 神野啓也 15位
やり投 斉賀大和 失格
高橋昇悟 4位 (四国大会出場)
本田京太郎 13位
田村智紀 8位
4x100mR 高橋・田中・田村・河野 予選敗退
4x400mR 高橋・田中・田村・清村 予選敗退

●陸上競技女子

- 200m 脇葵 予選敗退
400m 脇葵 予選敗退
400mH 脇葵 8位

●バスケットボール女子

- 1回戦 新居浜西 76-58 三瓶
2回戦 新居浜西 28-118 聖カタ

●バレーボール男子

- 1回戦 新居浜西 2-0 川之石
2回戦 新居浜西 0-2 松山工

●バレーボール女子

- 1回戦 新居浜西 2-0 伊予
2回戦 新居浜西 2-0 帝京五
3回戦 新居浜西 0-2 松山商 ベスト8

●バドミントン男子

- 団体1回戦 新居浜西 3-0 宇和水
2回戦 新居浜西 2-3 東温

●バドミントン女子

- 団体2回戦 新居浜西 3-1 北条
準々決勝 新居浜西 3-0 松山北
準決勝 新居浜西 0-3 新田 (3位 四国大会出場)

- シングルス 石丸若菜 1回戦敗退
三好裕理香 1回戦敗退
越智香澄 1回戦敗退
ダブルス 石丸・越智 2回戦敗退
伊藤・横山 1回戦敗退
三好・近藤 1回戦敗退
黒瀬・橋本 1回戦敗退

●卓球男子

- 団体1回戦 新居浜西 3-0 松中央
2回戦 新居浜西 0-3 松山北
ダブルス 鈴木雄太・久門史明 3回戦
片山翔太・寺岡拓穂 3回戦
シングルス 鈴木雄太 ベスト8 (四国大会出場)
寺岡拓穂 2回戦
山下瑞久 1回戦

●卓球女子

- 団体1回戦 新居浜西 1-3 松山南
シングルス 和島陽菜 2回戦敗退

●ソフトテニス男子

- 団体1回戦 新居浜西 2-1 上浮穴
2回戦 新居浜西 2-1 北宇和
準々決勝 新居浜西 0-3 済美
ダブルス 秋山卓登・神野修吾 2回戦
畑野元征・坂東泰生 1回戦
小畑歩夢・糸野達也 1回戦

●ソフトテニス女子

- 団体1回戦 新居浜西 1-2 大洲農
ダブルス 渡部・近藤 1回戦敗退
曾我部・酒井 1回戦敗退

●ハンドボール

- 1回戦 新居浜西 19-29 松中央

●サッカー

- 1回戦 新居浜西 1-2 大洲(延長戦)

●柔道

- 男子66kg級 妻鳥壮佑 2回戦敗退

●剣道男子

- 団体2回戦 新居浜西 5-0 東温
3回戦 新居浜西 1-3 聖陵
個人 児玉武留 2回戦
平田陸 1回戦

長岡和弥 1回戦

●剣道女子

- 団体1回戦 新居浜西 0-4 松山商
個人 上田亜希穂 1回戦

●弓道男子

- 団体 予選敗退
個人 白岡明敏 予選敗退

●弓道女子

- 団体 予選敗退
個人 塩田真子 予選敗退
太田彩香 予選敗退
松村優里 決勝7位

●ダンス

- 名もなき人間(カイツツ) 5位入賞

●テニス男子

- 団体2回戦 新居浜西 0-2 宇和東
シングルス 坂田裕笙 2回戦
伊藤隼雄 1回戦
ダブルス 内田・伊藤 1回戦

●テニス女子

- 団体1回戦 新居浜西 3-0 松山工
2回戦 新居浜西 1-2 松山東
シングルス 鈴木音弥 1回戦
白石菜緒 ベスト8
ダブルス 白石・鈴木 ベスト8

●新体操

- 加藤妙恵 フープ 10.00 13位
リボン 9.95 8位
総合 19.95 10位

●少林寺拳法

- 田中遥 3位(四国大会出場)

●水泳女子

- 100mバタフライ 宮崎穂香
1分17秒36 7位(四国大会出場)

文化部 大会結果

●棋道部

- 第37回 全国高等学校総合文化祭将棋部門愛媛県大会
男子団体1回戦 新居浜西 2-1 松山南
2回戦 新居浜西 1-2 愛光 ベスト8
男子個人 篠原将希 2位 全国大会出場
女子団体1回戦 新居浜西 2-1 済美
決勝 新居浜西 2-1 八幡浜 優勝
全国大会出場

- 第37回 全国高等学校総合文化祭囲碁部門愛媛県大会
男子交流戦 出場

- 第37回 文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会愛媛県大会
段級位認定戦・初級者大会 出場

●合唱部

- 第6回 回声楽アンサンブルコンテスト全国大会 銅賞
第37回 全国高等学校総合文化祭 出場決定

●放送部

- 第52回 愛媛県高等学校放送コンテスト
アナウンス部門 宮川萌 優秀賞(全国大会出場)
城山友実 優秀賞(全国大会出場)
廣貴萌々花 決勝進出
朗読部門 石川愛華 決勝進出
ラジオドラマ部門 「ココロ」 優秀賞
土肥紗也・宮川萌・豊永風音・城山友実

- 第37回 全国高等学校総合文化祭
ビデオメッセージ部門 「自転車の街」 出場決定

●書道部

- 第6回 全国高等学校書道パフォーマンス甲子園
出場決定(7月28日@三島体育館)
篠原俊介・安藤咲笑香・鴻上奈月・福田百・正岡真凜・森田文
秋山沙希・浅野絵泉・伊藤優花・宇都宮真唯・吉岡楓

新居浜の動き

別子山村との合併10周年

平成15年4月に、新居浜市と別子山村は、平成としては、愛媛県下で初の市町村合併が行われました。今年、合併後10周年という節目の年を迎えたことから、5月6日に合併記念式典とシンポジウムが開催されました。



活発な議論が交わされたシンポジウム

式典では、昨年11月に就任した石川市長が今後の決意を述べるとともに、10年前に市内の児童が書いた手紙の発表が行われました。続いて、別子山地域の活性化に取り組む機運を高めるシンポジウムが開催されました。また、今後、別子山地区において、各種イベントも実施されます。

変わりゆく駅前風景

今回は、新たに完成した駅前駐輪場や交通広場モニュメントなどを紹介します。

新居浜駅前駐輪場完成

より安全

で、快適な新居浜駅周辺を目指すため、3月18日に新居浜駅前駐輪場が完成し、供用開始されました。自転車駐輪施設は、2階建てで、バイク駐輪施設は、平屋建てで2棟が建設され、一時駐車、定期駐車併せて、それぞれ、自転車682台、小型自動二輪車34台が利用できます。



より便利になった新居浜駅前駐輪場

交通広場にモニュメント設置

新居浜市の玄関口であるJR新居浜駅前に、別子銅山の歴史と文化を感じる空間づく



自分の未来を重ねあわすモニュメント (中央)

くりを目的として、交通広場にモニュメントが設置され、3月10日にお披露目されました。このモニュメントは、全国から87作品の応募があり、この中から採用されたものです。「すべてはここから、そして未来へ『歓喜坑』と名付けられたモニュメントは、本体の大きさが、幅13・6m、奥行1・0m、高さが3・5mもあります。

このモニュメントは、新居浜駅前に「あかがねのまち」のシンボルとして再現したもので、緑の木々に包まれた現地のように、「杜の精」たちに囲まれています。すべては歓喜坑から始まり、その坑道は今に続き、そして未来につながっている。というコンセプトのもと作成されました。

今年度も、シンボルロードに、あかがねをテーマにした公募によるモニュメント6基を設置する予定です。

来年度には、南北自由通路や南口広場及び人の広場などが完成の見込みです。

総合文化施設の着工

新居浜駅前の中核となる総合文化施設の起工式が4月24日に行われました。

この施設は豊かな人間性をはぐくみ、次代を担う子供たちの教育に大いに資する芸術文化の振興を図るため、建設されるものです。「森の駅」と位置付けられた新居浜駅周辺の中核施設にふさわしい、豊かな緑に抱かれたミュージアムとなります。

「創る・学ぶ・育む」というコンセプトのもと、美術文化の創造、観光学習、にぎわいづくりの拠点を目指し、美術館・小劇場・アート工房や太鼓台ミュージアムなどが設置され、平成26年度に完成の予定です。



新たなまちの拠点となる総合文化施設

還暦を迎えて

—感謝・還暦—

大條 雅久（昭和47年卒）

はじめに

昭和44年4月から昭和47年3月の3年間は私の新居浜西高時代です。

新居浜西高では多くのことを学びました。友人から先生からそして新居浜西高という集団から…、楽しいことも気まずいこともいっぱいありましたが…。

42年たっても変わらぬ付き合いの多くの友人がいます。

そして、運動会、文化祭、生徒会活動いずれをとつても高校卒業後の私の助けとなる得難い経験になっています。

新居浜西高で過ごした3年間は、私にとって人生の中の宝物だと、この原稿を書きながらあらためて思い出しています。

生徒会長の一年間

中でも記憶に残るのは2年生の1年間、前期・後期通してやらせていただいた生徒会活動です。文化祭の準備に毎朝5時に起きて学校に行ったのを思い出しました。当時の出来事で、今も西高の校則に残っている出来事は制帽の廃止です。

西高の校則から制帽の規定が消えたのは私たちが2年生の時です。

私が入学する前に西高では長髪が許可されてきました。そんなこともあったのでしよう。制帽をかぶらない生徒が多くなりました。制帽廃止の校則変更について、何度も生徒指導の教員や教頭先生と話し合いを持ちました。私たちの主張は「時代に合わなくて

守れない校則は変えるべき」でした。何度目かの話し合いの後、ある教師から私の討論についてお褒めをいただいたことがあります。しかし、校則が変更になり制帽が廃止されたのは、私たち生徒会役員の力ではなく「時代が味方した」のでしよう。

制帽が廃止となった後、女子には胸章があるが男子はどうしたものかとなり、急遽襟章のデザインを全校生徒に公募することになりました。そのとき採用になったデザインは同期生の波多野君のものでした。

昭和の時代には使用されていたはずですが平成以降は女子の胸章もですが、残念なことに見かけなくなっています。

当時、制帽だけでなく、いろんな行事や打ち合わせのために、毎週のようにクラス代表委員会を、昼休みに招集していた記憶があります。まじめな生徒ばかりでしたから、無理を言う生徒会にもよく付き合ってくれたのでしよう。

卒業アルバム

今も形として残る思い出に卒業アルバムがあります。

このアルバム制作は各クラスから選ばされた編集委員が、何度も打ち合わせや編集作業の会合を持って、生徒だけのアイデアと編集で完成させたと自負しています。

もちろんマナー写真館の御主人や担当教師の貴重なアドバイスや助力があつて、私たち生徒がのびのび作業できた側面はあり

ますが…、従来の卒業アルバムの枠を突き破った作品になったと思います。その分当時の大人からの評価には難しいものがあつたやうです。

どかが従来のものと違ったかというところ、表紙のデザインは、襟章でも名前が出た波多野君。校舎の写真、校長・教職員の写真撮影は写真部の川井君。1ページの校歌の1節を墨書にしたためたのは木山君。そのほか各ページの写真のトリミング・編集、レタリングの文字にいたるまで、すべてが各担当の編集委員である生徒自身が行い、ハサミを入れているのです。

今思えば、よくあれだけ自由にさせていたのだと、当時の先生方に感謝しています。

感謝・還暦

今年の8月17日（土）に昭和47年3月卒業生の同期会を開催します。この原稿が同期会の告知に間に合うことを期待しています。60歳の人生の節目に、卒業アルバムにあるような集合写真をみんなで見たいと思つていま

す。みんないいおじさん、おばさんになつ

たけど、同期の仲間が集まると、時の流れが昔に戻ってしまいます。16歳の君や、17歳のあなたたちに…そして自分自身に再会することを楽しみにしています。

おわりに

今年の11月に私は満60歳の誕生日を迎えます。

そのお祝いに私は84歳になる母に「ありがとつ」を伝えようと思つています。

これまでちゃんと伝えたことのない感謝を、自分の言葉で言っておこうと思つています。

今更、はずかしがる歳でもないし…、自分自身が親になって以来、言いそびれてきたことのように感じて来たことなので…、流行りのフレーズで言えば「今でしょ!」かな。

ちなみに母も西高OGです。昭和21年3月の新居浜女学校卒業生です。母と私と子ども達、親子三代お世話になりました。西高に感謝!



若羽翼高舞
花蕾咲花



近畿くすのき

東日本樟樹会

第5回東日本樟樹会総会・懇親会

東日本樟樹会の第5回総会と懇親会は、5月26日(日) 12時から、東京都品川区西五反田の「ホテル ゆうぽう」と「芭蕉の間」で開催されました。

出席者は、来賓として、母校から藤田繁治学校長、畑田雅敏樟樹会会長が出席され、総勢56名。昭和31年卒業の方から平成23年の方まで幅広い年次の同窓生が出席しました。

総会は、井上六郎会長の開会挨拶の後、来賓挨拶では藤田学校長から母校の詳しい現況報告があり、続いて畑田樟樹会会長から母校100周年に向けての抱負と、関東



地区同窓生のよりどころとしてますますの発展を祈念する旨の話がありました。議案審議では24年度の事業報告が行われ、全会一致で承認されました。

12時30分から開催された懇親会では新居浜秋祭りのビデオが放映され、さながら会場全体が郷里一色に包まれました。そんな中、新居浜市の在りし日の昭和通り及び母校周辺の住宅地図のスライドショーがあり、郷里と母校に関するクイズ大会等が行われ、出席者一同故郷を思い出し懐かしいひと時を過ごしました。

次回は来年5月の最終日曜日(2014年5月25日)に開催の予定です。

副会長 大澤 明文

近畿くすのき会

第17回近畿くすのき会総会・懇親会

第17回近畿くすのき会総会・懇親会は、平成24年6月30日(土) 11時30分より大阪弁護士会館で開催されました。

本年も来賓として樟樹会より畑田会長、母校の藤田校長先生に御出席を頂き、総勢60名の会となりました。

総会では会計年度の期間変更、平成23年度の事業報告、会計報告及び平成24年度の事業計画案をはかり、承認頂きました。

懇親会では同窓生でフリーアナウンサーの宮本潤子さんの司会により、参加会員の皆様の近況報告、初参加者の紹介、母校に対する要望等、終始活発なトークが展開されました。その後、恒例の幹事の皆様に提供頂きました景品の抽選会(前回御出席頂きました寺岡先生から竹細工も提供頂きました。)が和気藹々の内に催されました。

懇親会が終了後、各年代での二次会も盛況で、母校の事、新居浜の事等、思い出話に延々と話題は尽きず楽しく、懐かしい時間を過ごしました。

記 小西 良二



松山樟樹会

パフォーマンスなど楽しむ

昨年11月 松山樟樹会第9回大会

松山樟樹会第9回大会は平成24年11月10日(土)午後6時から、松山市大手町のJALシティ松山で開かれました。32年卒の川井義和さんから平成12年卒の高橋浩一さんまで55名の参加でした。

来賓として、佐々木利夫教頭、樟樹会の畑田雅敏会長、恩師の崎野次雄、高山利典氏が出席されました。

松山樟樹会では第7回大会以降、総会開始前に同窓生の家族、友人ほかだれでも参加できる講演会を開いており、今回は、51年卒の福徳マリ子さんが所属の「劇団くくく楽会」によるパフォーマンスがありました。新居浜市を舞台に、出席者を巻き込んで犯人捜しをするコメディータッチの内容で、高校時代の街の記憶を思い出させる楽しい一時でした。

総会では、薦田伸夫会長の後任に光永真弓新会長が選ばれ、「女性と若い世代が多く参加できる総会へ」と決意を語りました。

懇親会は太鼓台DVDで始まり、重量当てゲーム等、年代を超えて大いに盛り上がり、それぞれ懇親を深め、恒例の「お手でつないで」で幕を閉めました。

(昭和40年卒 梶原 常晴)



同期会 陣り

昭和42年卒業生同期会

会長 山内 仁（昭和42年卒）

昨年8月13日（月曜日）に、恩師村上孝一先生の御出席を賜り、同期生約50名が、リーガロイヤルホテル新居浜に集いました。4年前の第4回目は、3名の先生を含め約60名の参加でした。

今回は、人数は減少したものの、初参加の方もあり、久しぶりの懐かしい顔に会い、昔話に、花を咲かせました。その後、参加者の殆どが、二次会に参加し、カラオケで盛り上がりました。

前回にも、紹介しましたが、この同期会とは別に、東京では、毎年、20名から30名の規模で、同期会を開催しており、大阪では、たまゆら会が、活動しております。次回同期会は、2014年、10月15日（水曜日）を予定しています。昭和42年卒業の皆様、今から参加の準備をしておいでください。



昭和44年卒業生同期会 われても末に逢はんとぞ思ふ

菅 伸明（昭和44年卒）

崇徳院の歌の引用から格調高く始まった同期会も、今年で記念の10回目となった。今回は1月2日、RRホテルに3名の先生方をお迎えし、同期生40名の参加で晴れやかに開催された。

校歌斉唱、開会挨拶、会計報告と続き、来賓の先生方のご挨拶。既に80歳を超えておられる先生もおり、時代の流れを感じさせられる。そういえば、我々も還暦を過ぎた62歳の『中高年』。「あくあれから40年」ならぬ44年の歳月が…。しかし、頭は禿げても気持ちだけはあいかわず若い！

乾杯に続いて各クラスごとの自己紹介と近況報告に移る。初めの計画では、代表者1名のスピーチとしていたが、人生いろいろ、しゃべりたいことはそれぞれにあるのだから、結局1人1人、40名のスピーチとなった。

しかし、それもまた良し！ホテルとの約束の2時間が過ぎても、まだまだ会は盛り上がりつつある。予定の時間を延長し、名残は



尽きないものの、我々の期の定番『高校生3年生』の熱唱と、畑田同窓会長（彼も同期生の1人）の閉会挨拶で本会を閉じた。懇親の中で、新居浜太鼓祭りの時期にやれないか？という意見もあり、今回は3年半後の10月16日頃になる見込みだ。…帰郷してわれも祭りの人となる…

昭和49年卒業生同期会

気分は高校生

幹事代表 石川 美砂子（昭和49年卒）

平成4年から始まり、今回で7回目の同期会を平成24年8月18日、リーガロイヤルホテルにて開催しました。恩師6名を含め計60名が参加しました。

同期会当日、だんだんと人が集まってくると、4年ぶりの再会なので、もうあつちもこつちも懐かしそうに話していました。

まず、はじめに記念写真を撮りました。その後、挨拶行事があり、先生方も懐かしい話をたづねりしてくださいました。

いつも1人ずつ自己紹介するのですが、今年は、卒業アルバムの中から写真をパソコンに取り込んで写しながらクラスごとにししました。写真が映し出された瞬間「オーッ！」と、どよめきがありました。あまりの変身ぶり（？）に驚いたのか写真が懐かしかったのか（？）わかりませんが、熱心に見てあだだったこうだったと話し合っていました。気分は一気に高校生時代に帰って盛り上がっていました。これからどんな年をとつても、同期会にきた時は、みんな昔に戻って〇〇君、〇〇ちゃんと呼

び合って昔話に花を咲かせることでしょう。2次会にもほとんどの人が参加し、時間の経つのも忘れ、夜中まで語り明かしました。

今回は、3年後の還暦の年に開催予定です。健康に気をつけて皆さん参加しましょう。



昭和56年卒業生同期会

「飛び出せ！青春」

事務局 高橋 利光（昭和56年卒）

西高を卒業して31年余。1月2日、50歳を迎えた昭和56年卒の同期生94名が、リーガロイヤルホテル新居浜に集合。12年ぶり3回目の同期会です。

恩師の鍵山先生、高山先生にもご出席いただき、記念撮影、天国に旅立った同期生4名に黙祷を捧げた後、司会の西田（旧姓鎌倉）景子さんが開会を宣言。田坂嘉朗理科系代表幹事の開会挨拶に続き乾杯が終わると、会場はまるで高校時代の放課後の教室のように賑やかになりました。アトラクションの1番目は「想い出のフォ

トアルバム」。西高時代の写真を集め、スライドショーで懐かしい青春時代をふり返りました。

2番目は「どうやらあなたがナンバーワンです!」。白石真二君の協力により賞品を確保。子どもの数、夫婦の年齢差、高齢出産、…様々な王者が判明しました。そして、急遽実施した「輝き大賞コンテスト」。50歳にもなると髪が少々…。出席者全員による厳正なる審査の結果、K君が初代王者となりました。

最後は、「50歳のカミングアウト」。好きだった彼、彼女の名前、先生に隠れてやった悪事の数々など、今なら堂々と言える事を明かしてもらいました。(これは、次回も引き継ぐ予定です。)

瞬く間に2時間半が過ぎ、締めは校歌斉



唱。合田史宣君の労作、現在の西高の校舎や校庭などの画像とデジタルオーケストラによる演奏もあつて、忘れかけていた歌詞も不思議と口から流れ、みんな声高々に歌いました。そして、中野久文科系代表幹事の閉会挨拶により同期会は閉幕となりました。

2次会へも60名を超える同期生が集結。いろいろな学校行事や『数学解法のテクニク』、『英語構文の研究』に苦戦した日々を懐かしく語るなど、まるで青春学園ドラマの名作「飛び出せ!青春」の一場面にいるかのように、楽しかった高校時代にタイムスリップした1日でした。

最後に、西高樟樹会事務局の皆様には、今回の同期会開催にあたり、多方面でご協力を賜り、誠にありがとうございました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。次回開催は、2016年夏の予定です。

平成13年新居浜西高等学校

卒業生同期会を終えて

中山 泰介(平成13年卒)

2012年12月30日に平成13年度新居浜西高卒業生同期会をYoursで行いました。前回2002年の成人式に開催した同期会から10年ぶり、三十路という区切りでの開催でありましたが、卒業生125名、恩師5名、総勢130名に参加して頂き、懐かしい思い出話に花を咲かせて頂きました。

変わった奴、全然変わってない奴、様々でしたが、会では皆が旧友・恩師との再会を喜び、高校時代の思い出話から、現在の仕事や家族の話まで2時間半ではとても話

りつくせない時間を過ごすことができましたように思います。

恩師の先生方の挨拶では、高校時代とは又違う視点で話を聞くことができ、改めて人とのつながりの重要性を認識することができました。参加して頂きました寺岡先生をはじめ恩師の先生方、本当にありがとうございました。皆が当時と変わらぬ笑顔で談笑する光景を見て、自分が本当にこの学年で高校時代を過ごすことができて良かったと素直に感じます。

今回残念ながら参加できない旧友も何人かいました。しかし、いつかの機会にまた集まることができたらと思います。

最後になりましたが、半年間の期間をかけて準備・運営を頑張ってくれた幹事の皆様方お疲れ様でした。そして、同期会の開催にあたりアドバイスを頂きました樟樹会

には感謝の念に堪えません。

5年後、10年後に開催されるであろう同期会も皆が変わらぬ笑顔で集まることを願っています。ありがとうございました。



編集後記

参議院議員選挙一色の夏です。アベノミクス効果で、円安・株高が5月までは順調に進み、日本経済も低迷期脱出かに思われましたが……。

さて、本校100周年が4年後に迫ってまいりました。会長あいさつで、意気込みが述べられています。本誌も節目に向かって、益々の発展・進化を、と思っておりますので、皆様のご意見・ご要望などお寄せください。

(同期会開催の原稿が、例年に増して寄せられ、毎号掲載の「校内こんところ(こと)」ご存知ですか?」を、お休みさせていただきます。

委員長 近藤 博司(昭44普)

委員 世良 賢克(昭26普)

武田 信之(昭28普)

近藤 司(昭42普)

畑田 雅敏(昭44普)

伏見 紀子(昭44普)

石川美千子(昭47普)

安藤 寛和(昭58普)

井川 美穂(昭62普)

越智 孝司(平2普)

佐藤 尚史(平8普)

日野 愛子(平12普)

吉村 新平(平15普)

鈴木 雅大(平16普)

発行所 樟樹会

〒792-0024

新居浜市宮西町4-46

TEL 0897-3214331

FAX 0897-3214331

発行者 畑田 雅敏

編集者 近藤 博司

印刷所 株式会社サラト

発行日 平成25年7月15日

表紙撮影…大久保直幸氏(昭和44年卒)大久保フォトス



新居浜太鼓祭り 提供：(社)新居浜市観光協会